



2025年9月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2025年2月7日

上場会社名 株式会社FOOD & LIFE COMPANIES 上場取引所 東
 コード番号 3563 URL <https://www.food-and-life.co.jp/>
 代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）山本 雅啓
 問合せ先責任者（役職名）執行役員（氏名）吉田 剛（TEL）06-6368-1001
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満四捨五入）

1. 2025年9月期第1四半期の連結業績（2024年10月1日～2024年12月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する 四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年9月期第1四半期	99,141	15.9	9,579	56.4	9,336	62.9	6,521	90.2	6,129	88.2	8,559	200.1
2024年9月期第1四半期	85,533	25.8	6,123	290.1	5,732	431.6	3,429	380.8	3,257	385.6	2,852	—

	調整後EBITDA		基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	百万円	%	円 銭	円 銭
2025年9月期第1四半期	12,998	42.2	54.18	53.65
2024年9月期第1四半期	9,143	81.4	28.15	27.94

（2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2025年9月期第1四半期	369,946	83,140	81,360	21.5
2024年9月期	365,154	77,837	76,568	20.5

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年9月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 30.00	円 銭 30.00
2025年9月期	—	—	—	—	—
2025年9月期(予想)	—	0.00	—	27.50	27.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
 2024年9月期期末配当金の内訳 普通配当 27円50銭 記念配当 2円50銭

3. 2025年9月期の連結業績予想（2024年10月1日～2025年9月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上収益		調整後EBITDA		営業利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	408,000	13.0	41,800	11.5	26,000	11.2	15,000	2.5	132.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
 新規 ー社(社名)ー、除外 ー社(社名)ー

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2025年9月期1Q	116,069,184株	2024年9月期	116,069,184株
2025年9月期1Q	2,941,420株	2024年9月期	2,945,764株
2025年9月期1Q	113,124,984株	2024年9月期1Q	115,687,917株

(4) 各種指標の算式

指標	算式
調整後EBITDA	営業利益+減価償却費及び償却費(使用権資産の減価償却費を除く)+減損損失

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その実現を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書	6
(3) 要約四半期連結包括利益計算書	7
(4) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(セグメント情報)	10
(販売費及び一般管理費)	11
(1株当たり利益)	11
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、賃上げ等に伴う個人消費の持ち直しや、インバウンド需要が増加したことにより、緩やかな経済活動の回復が見られました。一方で、世界的な政情不安や想定以上の円安の長期化に伴う物価上昇により、先行き不透明な状況が続いております。

外食業界におきましても、原材料価格やエネルギー価格等の高騰に加え、慢性的な人手不足等により引き続き厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社グループでは、「変えよう、毎日の美味しさを。広めよう、世界に喜びを。」をVISIONとして、日々の食を美味しくすることで、お客様の生活や人生までゆたかにしたいという願いに向けて、商品開発、店内調理、安心・安全の取り組み及びサービスの向上に取り組んで参りました。

業態別店舗数は以下のとおりであります。

[当社グループ業態別店舗数]

業態名	前連結会計年度末	出店実績	閉店実績	当第1四半期連結会計期間末
国内：スシローブランド (テイクアウト専門店)	655(9)	3	1	657(9)
国内：杉玉ブランド(FC)	87(17)	2	—	89(17)
国内：京樽ブランド	117(—)	1	4	114(—)
国内：回転寿司みさき・ 三崎丸ブランド	95(—)	1	4	92(—)
国内：その他ブランド	18(—)	—	—	18(—)
国内合計	972(26)	7	9	970(26)
海外：スシローブランド (テイクアウト専門店)	174(—)	12	2	184(—)
海外：その他ブランド	9(—)	—	—	9(—)
海外合計	183(—)	12	2	193(—)
国内外合計	1,155(26)	19	11	1,163(26)

() 内は内数でテイクアウト専門店・FCの店舗数

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上収益99,141百万円（前年同期比15.9%増）、営業利益9,579百万円（前年同期比56.4%増）、税引前四半期利益9,336百万円（前年同期比62.9%増）、親会社の所有者に帰属する四半期利益6,129百万円（前年同期比88.2%増）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

(国内スシロー事業)

「すしに真っすぐ！」をテーマに、お値打ち感のあるキャンペーンやIPコラボを実施しました。「本鮪大とろ祭」では、“鮪の王様”「本鮪大とろ」を1皿税込110円〜で提供し、「冬のうまいもん祭」第一弾では「厚切り天然インド鮪6貫盛り」、第二弾では「特ネタ中とろ」のお値段でミニシャリ「大とろ」がついてくる「特ネタ中とろ + 大とろ（ミニシャリ）」、第三弾では通常の「天然本鮪6貫盛り」に「中とろ」を1貫追加した「天然本鮪7貫盛り」などをお客様にお楽しみいただきました。

さらに、「2024年サンリオキャラクター大賞」TOP3にもランクインしたサンリオの人気キャラクター「クロミ」や、海外でも人気のキャラクター「パペットスンスン」とコラボを実施し、コラボ限定ピック付きのおすしやコラボ限定シール付きのスイーツを販売しました。

また、デジタルビジョンと回転レーンが融合した「デジタル スシロービジョン」、通称「デジロー」の導入を計画通り進めております。

以上の結果、国内スシロー事業の売上収益は63,224百万円（前年同期比7.8%増）、セグメント利益は5,349百万円（前年同期比20.1%増）となりました。

(海外スシロー事業)

中国大陸では環境変化を見極めつつ出店を進めており、12月には蘇州に1号店もオープンいたしました。その他の地域では積極的に出店を継続しております。

来店客数の維持・拡大に向けて、魅力的な販促・マーケティング施策を各地域で継続的に実施しており、タイでは「感謝祭」を開催し、赤シャリを使用した特別メニューを提供。香港では「ありがとろ祭」を実施し、「カマトロ」や「黒毛和牛ローストビーフ赤ワインフォアグラのせ」などをご堪能いただきました。

以上の結果、海外スシロー事業の売上収益は27,764百万円（前年同期比45.6%増）、セグメント利益は3,104百万円（前年同期比198.0%増）となりました。

(京樽事業)

京樽ブランドでは、商品力、接客力の強化に継続して取り組んでおります。また、冷凍鮭の販売も拡大しつつあり、大手スーパーのネット販売でも購入可能となるなど、その販路を広げております。10月は、味だけでなく見た目でもお楽しみいただける「ハロウィン茶きん鮭」、11月の“すしの日”には、人気の「中巻」を全品税込111円で提供しました。11月中旬から12月末にかけては、京樽の人気商品「海鮮ちらし」と「かにちらし」をセットにした季節限定商品をご堪能いただきました。

みさきブランドでは、業績が好調に推移しており、京樽ブランドと同様、商品力、接客力の強化に継続して取り組んでおります。東京、人形町にオープンした、みさきの旗艦店「総本店みさき」は、みさきが目指す高水準のサービスが日々実践されているモデル店舗であり、みさき全社員の教育機関も担う店舗となっております。この旗艦店を活用した接客力強化の取り組みに加え、お寄せいただく様々なお客様の声をみさきのサービスに着実に反映し、さらなるブランドの進化を図ってまいります。

以上の結果、京樽事業の売上収益は6,152百万円（前年同期比1.8%減）、セグメント利益は72百万円（前年同期比32.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び資本の状況

(資産)

総資産の残高は、前連結会計年度末に比べ4,792百万円増加し、369,946百万円となりました。

流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ1,887百万円減少し、72,769百万円となりました。これは主に、営業債権及びその他の債権が1,627百万円増加し、棚卸資産が1,790百万円増加した一方で、現金及び現金同等物が5,736百万円減少したこと等によるものであります。

非流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ6,678百万円増加し、297,177百万円となりました。これは主に、新店出店等により有形固定資産が6,617百万円増加したこと等によるものであります。

(負債)

負債合計は、前連結会計年度末に比べ511百万円減少し、286,806百万円となりました。

流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べ1,253百万円減少し、79,590百万円となりました。これは主に、営業債務及びその他の債務が1,031百万円増加した一方で、引当金が2,458百万円減少したこと等によるものであります。

非流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べ742百万円増加し、207,216百万円となりました。これは主に、社債及び借入金が1,049百万円減少した一方で、リース負債が1,928百万円増加したこと等によるものであります。

(資本)

資本合計は、前連結会計年度末に比べ5,303百万円増加し、83,140百万円となりました。これは主に、利益剰余金が配当金の支払により3,394百万円減少した一方で、親会社の所有者に帰属する四半期利益の計上により6,129百万円増加したこと等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ5,736百万円減少し、42,959百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は、10,055百万円（前年同期比10.5%減）となりました。

これは主に、税引前四半期利益9,336百万円、減価償却費及び償却費8,454百万円の計上、営業債務及びその他の債務の増加が2,832百万円あった一方で、営業債権及びその他の債権の増加が1,545百万円、棚卸資産の増加が1,712百万円、法人所得税の支払額が4,236百万円、賞与引当金の減少が2,435百万円あったこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、7,077百万円（前年同期比28.2%増）となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出が7,185百万円あったこと等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、9,581百万円（前年同期比9.8%増）となりました。

これは主に、リース負債の返済による支出が5,286百万円、長期借入金の返済による支出が1,002百万円、配当金の支払額が3,300百万円あったこと等によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年11月8日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。なお、連結業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、景気動向等の様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	48,695	42,959
営業債権及びその他の債権	13,882	15,509
棚卸資産	6,512	8,302
その他の金融資産	2,940	2,179
その他の流動資産	2,627	3,820
流動資産合計	74,656	72,769
非流動資産		
有形固定資産	184,936	191,553
のれん	30,371	30,371
無形資産	57,016	56,987
持分法で会計処理されている投資	52	52
敷金及び保証金	14,766	15,271
その他の金融資産	1,232	1,232
繰延税金資産	1,552	1,104
その他の非流動資産	574	607
非流動資産合計	290,499	297,177
資産合計	365,154	369,946
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	35,569	36,600
社債及び借入金	9,009	9,009
未払法人所得税	4,710	3,347
リース負債	19,523	20,471
その他の金融負債	1,006	1,836
引当金	5,275	2,817
その他の流動負債	5,750	5,510
流動負債合計	80,843	79,590
非流動負債		
営業債務及びその他の債務	22	22
社債及び借入金	75,514	74,465
リース負債	112,838	114,766
その他の金融負債	105	101
引当金	4,730	4,962
繰延税金負債	13,264	12,900
非流動負債合計	206,474	207,216
負債合計	287,317	286,806
資本		
資本金	100	100
資本剰余金	15,734	15,738
利益剰余金	65,818	68,547
自己株式	△9,156	△9,143
その他の資本の構成要素	4,073	6,118
親会社の所有者に帰属する持分合計	76,568	81,360
非支配持分	1,269	1,780
資本合計	77,837	83,140
負債及び資本合計	365,154	369,946

(2) 要約四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)
売上収益	85,533	99,141
売上原価	△37,526	△41,990
売上総利益	48,007	57,151
販売費及び一般管理費	△41,622	△47,627
その他の収益	104	203
その他の費用	△366	△148
営業利益	6,123	9,579
金融収益	59	374
金融費用	△451	△617
税引前四半期利益	5,732	9,336
法人所得税費用	△2,302	△2,815
四半期利益	3,429	6,521
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	3,257	6,129
非支配持分	172	392
四半期利益	3,429	6,521
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	28.15	54.18
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	27.94	53.65

(3) 要約四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)
四半期利益	3,429	6,521
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて測定する金融資産の公正価値の純変動	—	△2
純損益に振り替えられることのない項目合計	—	△2
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△578	2,040
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	△578	2,040
税引後その他の包括利益	△578	2,038
四半期包括利益	2,852	8,559
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	2,673	8,048
非支配持分	179	511
四半期包括利益	2,852	8,559

(4) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)

(単位: 百万円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の 資本の構 成要素	親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	非支配持分	資本合計
2023年10月1日時点の残高	100	15,676	53,787	△1,840	4,544	72,268	391	72,659
四半期利益			3,257			3,257	172	3,429
その他の包括利益					△584	△584	7	△578
四半期包括利益合計	—	—	3,257	—	△584	2,673	179	2,852
自己株式の処分		△39		59	△14	5		5
自己株式の取得				△0		△0		△0
株式に基づく報酬取引					126	126		126
配当金			△2,603			△2,603		△2,603
所有者との取引額合計	—	△39	△2,603	59	111	△2,472	—	△2,472
2023年12月31日時点の残高	100	15,637	54,441	△1,781	4,071	72,468	570	73,038

当第1四半期連結累計期間(自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)

(単位: 百万円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の 資本の構 成要素	親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	非支配持分	資本合計
2024年10月1日時点の残高	100	15,734	65,818	△9,156	4,073	76,568	1,269	77,837
四半期利益			6,129			6,129	392	6,521
その他の包括利益					1,919	1,919	119	2,038
四半期包括利益合計	—	—	6,129	—	1,919	8,048	511	8,559
自己株式の処分		△0		13	△3	10		10
自己株式の取得				△0		△0		△0
新株予約権の失効		4			△4	—		—
株式に基づく報酬取引					128	128		128
配当金			△3,394			△3,394		△3,394
利益剰余金への振替			△6		6	—		—
所有者との取引額合計	—	4	△3,400	13	126	△3,256	—	△3,256
2024年12月31日時点の残高	100	15,738	68,547	△9,143	6,118	81,360	1,780	83,140

(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	5,732	9,336
減価償却費及び償却費	7,249	8,454
減損損失	283	—
金融収益	△59	△374
金融費用	451	617
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1,020	△2,435
敷金及び保証金の家賃相殺額	62	66
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	△3,929	△1,545
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,576	△1,712
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	4,871	2,832
その他	552	△270
小計	12,614	14,969
利息及び配当金の受取額	28	43
利息の支払額	△428	△721
法人所得税の支払額	△986	△4,236
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,229	10,055
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△4,493	△7,185
有形固定資産の売却による収入	1	11
無形資産の取得による支出	△235	△620
定期預金の預入による支出	△1,095	—
定期預金の払戻による収入	657	985
敷金及び保証金の差し入れによる支出	△259	△509
投資有価証券の取得による支出	△235	—
その他	139	241
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,520	△7,077
財務活動によるキャッシュ・フロー		
社債の償還による支出	△20,000	—
社債の発行による収入	19,494	—
長期借入金の返済による支出	△1,002	△1,002
リース負債の返済による支出	△4,705	△5,286
支払手数料の支払による支出	△3	△7
自己株式の取得による支出	△0	△0
新株予約権の行使による収入	5	9
配当金の支払額	△2,517	△3,300
その他	4	5
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,724	△9,581
現金及び現金同等物の減少額	△3,016	△6,603
現金及び現金同等物の期首残高	51,228	48,695
現金及び現金同等物に係る換算差額	△274	867
現金及び現金同等物の四半期末残高	47,939	42,959

(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

①報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、主に事業別のセグメントから構成されております。

各報告セグメントに含まれる主要ブランドは以下のとおりであります。

国内スシロー事業：国内で展開する「スシロー」及びテイクアウト専門店

海外スシロー事業：海外で展開する「スシロー」及びテイクアウト専門店

京樽事業：株式会社京樽が運営する全ブランド（主要ブランド「京樽」・「回転寿司みさき」・「海鮮三崎港」）

その他事業：株式会社FOOD & LIFE INNOVATIONS が運営する全ブランド(主要ブランド「杉玉」)

②報告セグメント売上収益及び業績

当社グループの報告セグメントによる売上収益及び業績は以下のとおりです。

前第1四半期連結累計期間（自 2023年10月1日 至 2023年12月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計	調整額合計 (注) 2	連結合計
	国内スシロー事業	海外スシロー事業	京樽事業	その他事業			
売上収益							
外部収益	58,638	19,068	6,254	1,573	85,533	—	85,533
セグメント間収益	—	—	7	17	24	△24	—
計	58,638	19,068	6,262	1,589	85,557	△24	85,533
セグメント利益 (注) 1	4,456	1,042	106	58	5,661	462	6,123
その他の項目							
減価償却費及び償却費	4,014	2,454	422	167	7,057	192	7,249
減損損失	224	—	34	24	283	—	283

(注) 1. セグメント利益は要約四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. セグメント利益の調整額462百万円には、主にセグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社損益が含まれております。

当第1四半期連結累計期間（自 2024年10月1日 至 2024年12月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計	調整額合計 (注) 2	連結合計
	国内スシロー事業	海外スシロー事業	京樽事業	その他事業			
売上収益							
外部収益	63,224	27,763	6,152	2,002	99,141	—	99,141
セグメント間収益	—	1	—	34	35	△35	—
計	63,224	27,764	6,152	2,036	99,176	△35	99,141
セグメント利益 (注) 1	5,349	3,104	72	62	8,587	992	9,579
その他の項目							
減価償却費及び償却費	4,281	3,274	425	207	8,187	267	8,454
減損損失	—	—	—	—	—	—	—

(注) 1. セグメント利益は要約四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. セグメント利益の調整額992百万円には、主にセグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社損益が含まれております。

(販売費及び一般管理費)

販売費及び一般管理費の内訳は以下のとおりであります。

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)
従業員給付費用	22,958	26,613
減価償却費及び償却費	7,233	8,432
水道光熱費	2,019	2,420
支払手数料	1,723	1,966
その他	7,689	8,196
合計	41,622	47,627

(1株当たり利益)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)
親会社の普通株主に帰属する四半期利益(百万円)	3,257	6,129
基本的1株当たり四半期利益の計算に使用する普通株主に係る四半期利益(百万円)	3,257	6,129
希薄化後1株当たり四半期利益の計算に使用する普通株主に係る四半期利益(百万円)	3,257	6,129
基本的期中平均普通株式数(株)	115,687,917	113,124,984
希薄化後1株当たり四半期利益の計算に用いられた普通株式増加数(株)	882,803	1,115,540
希薄化後の期中平均普通株式数(株)	116,570,720	114,240,524
基本的1株当たり四半期利益(円)	28.15	54.18
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	27.94	53.65
希薄化効果を有しないため、希薄化後1株当たり四半期利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	新株予約権3種類 (普通株式256千株)	新株予約権3種類 (普通株式218千株)

(重要な後発事象)

(無担保普通社債の発行)

当社は、2024年11月28日開催の取締役会における無担保普通社債の発行に関する包括決議に基づき、以下のとおり社債を発行いたしました。

銘柄	第6回無担保社債 (特定社債間限定同順位特約付)
発行総額	50億円
発行価額	各社債の金額100円につき金100円
利率	1.351%
償還期限	2030年1月23日
払込期日	2025年1月23日
担保	無担保
資金使途	社債償還資金